第28回定期演奏会

Tokyo Sinfonietta the 28th Subscription Concert

東京シンフォニエッタ TS

2010/12/10 (金) 開演 19:00

19:00 Friday,10th December 2010

東京文化会館小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Small Hall

湯浅譲二特集 Focus on Joji Yuasa

指揮：板倉康明

Conductor：Yasuaki Itakura

演奏：東京シンフォニエッタ

Ensemble：Tokyo Sinfonietta

エドガー・ヴァレーズ：オクタンドル（1923）

Edgard Varèse：Octandre for seven wind instruments and double bass

湯浅譲二：7人の奏者のためのプロジェクションズ（1955/56）

Joji Yuasa：Projections for Seven Players

今井智景：シモルジェネシス 17人の演奏家のための（2009）*

Chikage Imai：Simulgenesis for 17 musicians

湯浅譲二：世阿彌・九位（1987-88）

Joji Yuasa : Nine Levels by Ze-Ami

湯浅譲二：室内オーケストラのためのプロジェクション（2008）

Joji Yuasa: Projection for Chamber Symphony Orchestra

* 日本初演／ Japanes premiere

入場料：一般　4,000円／学生　3,000円　主催：東京シンフォニエッタ

助成：芸術文化振興基金　財団法人 ロームミュージックファンデーション

Tokyo Sinfonietta the 28th Subscription Concert

第28回 定期演奏会 東京シンフォニエッタ TS

湯浅譲二特集

Joji Yuasa Feature

2010年12月10日(金)

午後7時開演　東京文化会館小ホール

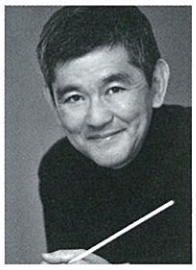
第28回定期演奏会　湯浅譲二特集によせて

東京シンフォニエッタの定期公演における新しい試みとして、一人の作曲家に焦点を当て、私たちで充足できる編成の作品を軸にその魅力を味わおうと考えてみました。

湯浅譲二氏は言うまでもなく、日本のみならず、海外でもその作品は高く評価されている同時代の最も重要な作曲家の一人です。また、東京シンフォニエッタ発足時より、演奏会にも度々お運びいただき、応援していただいており、団員達にとっても、作品のみならず、その豊かな人間性にも直接触れることが出来る存在です。

今回は氏の作品と、氏がご推薦された二人の作曲家、ヴァレーズ、今井の両作品を合わせ構成致しました。お楽しみいただければ幸いです。

東京シンフォニエッタ音楽監督・板倉康明



指揮：板倉康明
©Eric Manas

1960年東京生まれ。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部卒業。フランス政府給費留学生として渡仏し、パリ市立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。故アンリエット・ピュイグ＝ロジェ氏から深い薫陶を受け、現在の多彩な演奏活動の礎を築いた。クラリネット奏者として東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。

1996年横浜の第3回神奈川芸術フェスティバルで西村朗作品により指揮デビュー。以後、現代作品を中心に、活発な指揮活動を行っている。これまでに、サントリー・サマーフェスティバル、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、プレゾンス音楽祭（フランス）、ミュージック・フロム・ジャパン（ニューヨーク）、現代音楽アスペクト（カーン　フランス）等、国内外の音楽祭に招聘されている。指揮者としてのレパートリーは広範囲に渡り、特に現代作品の演奏には各方面から高い評価を得ている。現在までに100曲を超える世界及び日本初演を行い、作曲家たちと共同作業も活発に行っている。

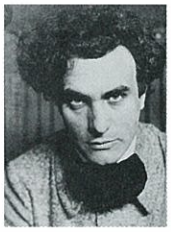
2001年より東京シンフォニエッタ音楽監督就任。

1997年、1999年に日本音楽コンクール作曲部門本選での演奏及び指揮に対し、「日本音楽コンクール委員会特別賞」を受賞。

1999年「第18回中島健蔵音楽賞」を受賞。

湯浅譲二

1929年福島県郡山市生まれ。少年期より音楽活動に興味をおぼえ独学で作曲を始める。1949年慶応大学医学部教養課程に入学。在学中より秋山邦晴、武満徹らと親交を結び、1951年「実験工房」に参加、作曲に専念する。以来、オーケストラ、室内楽、合唱、劇場用音楽、インターメディア、電子音楽、コンピュータ音楽など、幅広い作曲活動を行っており、国内はもとより、世界の主要オーケストラ、フェスティバルなどから多数の委嘱を受けている。これまでにニューヨークのジャパン・ソサエティ、DAADのベルリン芸術家計画、シドニーニュー・サウス・ウェールズ音楽院、トロント大学、IRCAM など世界各国から招聘を受け、また、ハワイにおける今世紀の芸術祭、香港のアジア作曲家会議、英国文化振興会主催の現代音楽巡回演奏会、アムステルダムの作曲家講習会などに、ゲスト作曲家、講師として参加するなど、国際的に活動している。1981年からカリフォルニア大学サン・ディエゴ校教授（現在名誉教授）を務め、現在桐朋学園大学特任教授を務めている。1997年〈ヴァイオリン協奏曲〉により第28回サントリー音楽賞を受賞。1998年より武満徹の後任として、「サントリーホール国際作曲委嘱シリーズ」のアーティスティック・ディレクターを務めている。2010年4月国際現代音楽協会（ISCA）名誉会員に推挙された。



エドガー・ヴァレーズ

エドガー・ヴァレーズ (1883-1965) パリ生まれ。中世音楽に傾倒しブゾーニ、ドビュッシーなどの影響を受けた。1915年渡米、その後帰化。渡米後は同時代作品の演奏を目的に国際的作曲家組織を設立。西欧初の打楽器アンサンブル曲の作曲をはじめ、1916年には既に「音楽には新しい楽器が必要でそれは機械である」と述べ、1932年には発明されたばかりのテルミンの曲を作曲。火災消失、自身による破棄により作品数は少ないが、ブーレーズ、ケージ、シュトックハウゼンなど代表的現代音楽家に影響を与えた。2010年7月20日、ニューヨークフィルハーモニックがヴァレーズを回顧、特集するコンサートを行った。

今井智景

愛知県名古屋市出身。愛知県立芸術大学で学士、アムステルダム音楽院で学士と修士を取得。これまでに作品が、ルーカス・フィス、アーヴィン・アルディッティ、アンサンブル・モデルン、ニュー・アンサンブルなど国際的に活躍する指揮者や演奏家達によって、さまざまな現代音楽祭をはじめ、ヨーロッパを中心に各地で演奏される。また、多分野のメディアとも積極的に交流を深め作品を発表している。2005年から2009年までロームミュージック財団奨学生。第28回入野国際作曲コンクール佳作賞を受賞。第4回アンサンブル・モデルン国際作曲家セミナー招喚。現在、ロイヤル・ホロウェイ・ロンドン大学の名誉研究員。

◎定期演奏会次回の予告◎	2011年7月1日(金) 19:00～ 東京文化会館小ホール	西村 朗：ヴィシュヌの臍（へそ）／ 猿谷 紀郎：東京シンフォニエッタ委嘱作品／ 藤倉 大 作品／ベネット・カサブランカス作品／ ヤイル・クラータク：双極性無秩序

主催：東京シンフォニエッタ　http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ts/
助成：芸術文化振興基金　財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
チケットお取り扱い：チケットぴあ　0570-02-9999　t.pia.jp　Pコード 116-245　東京文化会館チケットサービス　03-5685-0650　http:www//t-bunka.jp
お問合せ：東京コンサーツ　03-3226-9755（月～金 10:00～18:00）http://tokyo-concerts.co.jp（HPで予約して、セブン・イレブンで支払・受取ができます）
東京文化会館：「JR上野駅」公園口正面